

令和元年度

輪島市各会計決算審査意見書
及び各基金の運用状況審査意見書

輪島市監査委員

発 監 査 第 83 号
令和 2 年 8 月 28 日

輪島市長 梶 文 秋 様

輪島市監査委員 高 森 宝 一

輪島市監査委員 大 宮 正

決算審査意見書の提出について

地方自治法第 2 3 3 条第 2 項、同法第 2 4 1 条第 5 項及び地方公営企業法
第 3 0 条第 2 項の規定により、令和元年度輪島市各会計歳入歳出決算及び
基金運用状況書類を審査したので、その結果について意見を提出します。

目 次

各会計歳入歳出決算

| | |
|----------|---|
| 1. 審査の対象 | 1 |
| 2. 審査の期間 | 1 |
| 3. 審査の方法 | 1 |
| 4. 審査の結果 | 1 |
| 5. 決算の概要 | 2 |

| | |
|-----------|-----|
| 一般会計 | 4 |
| 1. 決算収支状況 | 4 |
| 2. 歳入について | 4 |
| 3. 歳出について | 1 3 |

| | |
|-----------------------|-----|
| 特別会計 | 2 1 |
| 1. 土地取得事業会計 | 2 2 |
| 2. 臨海土地造成事業会計 | 2 3 |
| 3. 国民健康保険会計（事業勘定） | 2 4 |
| 4. 国民健康保険会計（直営診療施設勘定） | 2 8 |
| 5. 後期高齢者医療会計 | 2 9 |
| 6. 介護保険会計 | 3 1 |

| | |
|----------|-----|
| 財産に関する調書 | 3 3 |
| 基金運用状況 | 3 5 |
| むすび | 3 6 |

審査資料

| | |
|----------------------|-----|
| 第 1 表 歳入歳出決算総括表 | 3 9 |
| 第 2 表 一般会計款別歳入一覧表 | 4 0 |
| 第 3 表 一般会計歳入款別年度別比較表 | 4 2 |
| 第 4 表 市税収入状況調 | 4 4 |
| 第 5 表 一般会計財源別歳入決算額調 | 4 6 |
| 第 6 表 一般会計款別歳出一覧表 | 4 8 |
| 第 7 表 一般会計歳出款別年度別比較表 | 5 0 |
| 第 8 表 一般会計款別使途別分類表 | 5 1 |
| 第 9 表 一般会計歳出節別明細書 | 5 2 |
| 第 10 表 特別会計歳入一覧表 | 5 4 |
| 第 11 表 特別会計歳出一覧表 | 5 4 |
| 第 12 表 特別会計歳出使途別分類表 | 5 4 |
| 第 13 表 特別会計歳出節別明細書 | 5 6 |

企業会計

| | |
|------------------|-----|
| 病院事業会計 | 57 |
| むすび | 62 |
| 審査資料 | |
| 第1表 業務実績表 | 65 |
| 第2表 予算決算対照表 | 66 |
| 第3表 比較損益計算書 | 68 |
| 第4表 事業費用構成比較表 | 70 |
| 第5表 事業費用使途別構成比較表 | 71 |
| 第6表 比較貸借対照表 | 72 |
| 固定資産明細書 | 74 |
| 補てん財源明細書 | 75 |
| 水道事業会計 | 77 |
| むすび | 82 |
| 審査資料 | |
| 第1表 業務実績表 | 85 |
| 第2表 予算決算対照表 | 86 |
| 第3表 比較損益計算書 | 88 |
| 第4表 事業費用構成比較表 | 90 |
| 第5表 事業費用使途別構成比較表 | 91 |
| 第6表 比較貸借対照表 | 92 |
| 固定資産明細書 | 94 |
| 補てん財源明細書 | 95 |
| 下水道事業会計 | 97 |
| むすび | 101 |
| 審査資料 | |
| 第1表 業務実績表 | 103 |
| 第2表 予算決算対照表 | 104 |
| 第3表 損益計算書 | 106 |
| 第4表 事業費用構成表 | 108 |
| 第5表 事業費用使途別構成表 | 109 |
| 第6表 比較貸借対照表 | 110 |
| 固定資産明細書 | 112 |
| 補てん財源明細書 | 113 |

- (注) 1. 文中のポイントとは、パーセンテージ間または指数間の単純差引数値である。
2. 各表中の金額は原則として円単位で表示し、千円単位で表示した部分は、単位未満を四捨五入した。このため計数が一致しない場合がある。
3. 比率は、原則として小数点第3位を四捨五入した。このため計数が一致しない場合がある。
4. 各表中の比較増減の減は△印で表示した。

令和元年度輪島市各会計決算審査意見

1. 審査の対象

| | |
|-------|-------------------------------|
| 令和元年度 | 輪島市一般会計歳入歳出決算 |
| 令和元年度 | 輪島市土地取得事業特別会計歳入歳出決算 |
| 令和元年度 | 輪島市臨海土地造成事業特別会計歳入歳出決算 |
| 令和元年度 | 輪島市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算 |
| 令和元年度 | 輪島市国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）歳入歳出決算 |
| 令和元年度 | 輪島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 |
| 令和元年度 | 輪島市介護保険特別会計歳入歳出決算 |
| 令和元年度 | 附 財産に関する調書 |
| 令和元年度 | 輪島市病院事業会計決算 |
| 令和元年度 | 輪島市水道事業会計決算 |
| 令和元年度 | 輪島市下水道事業会計決算 |

2. 審査の期間

令和2年7月20日～令和2年8月11日

3. 審査の方法

審査は、市長から提出された歳入歳出決算書及び附属書類に基づき、担当職員の説明を聴取し、関係帳票及び証拠書類により計数の確認を行い、予算執行状況並びにその適否などについて審査した。

4. 審査の結果

各会計の決算は、関係法令に準拠して作成されており、決算額その他の計数は関係帳票及び証拠書類と符合していることを確認した。

5. 決算の概要

(1) 決算の規模

(単位：円・%)

| 区 分 | 令和元年度 予 算 現 額 | 令和元年度 決 算 額 | 予算現額に対する比率 |
|------|------------------|----------------|------------|
| 歳 入 | 31,711,936,291 | 30,090,127,755 | 94.89 |
| 一般会計 | 23,085,239,291 | 21,443,483,357 | 92.89 |
| 特別会計 | 8,626,697,000 | 8,646,644,398 | 100.23 |
| 歳 出 | 31,711,936,291 | 29,666,655,593 | 93.55 |
| 一般会計 | 23,085,239,291 | 21,110,076,284 | 91.44 |
| 特別会計 | 8,626,697,000 | 8,556,579,309 | 99.19 |
| 差 引 | 0 | 423,472,162 | - |
| 一般会計 | 0 | 333,407,073 | - |
| 特別会計 | 0 | 90,065,089 | - |

(2) 決算の収支

令和元年度輪島市一般会計及び特別会計決算の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

| 区 分 | 一 般 会 計 | 特 別 会 計 | 合 計 |
|-----------------|----------------|---------------|----------------|
| 歳入決算額 | 21,443,483,357 | 8,646,644,398 | 30,090,127,755 |
| 歳出決算額 | 21,110,076,284 | 8,556,579,309 | 29,666,655,593 |
| 差引残額 (形式収支) | 333,407,073 | 90,065,089 | 423,472,162 |
| 翌年度へ繰越 すべき財源 | 263,154,597 | 0 | 263,154,597 |
| 実 質 収 支 | 70,252,476 | 90,065,089 | 160,317,565 |

一般会計では、歳入総額が214億4,348万3千円、歳出総額が211億1,007万6千円であり、歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支で3億3,340万7千円の黒字となっている。また、実質収支において7,025万2千円の黒字となっている。

特別会計では、歳入総額が86億4,664万4千円、歳出総額が85億5,657万9千円となり、形式収支で9,006万5千円の黒字で、実質収支においても同額となっている。

以上の結果、一般会計と特別会計の総合計では、歳入総額が300億9,012万8千円、歳出総額が296億6,665万6千円となり、形式収支で4億2,347万2千円の黒字で、実質収支においても1億6,031万8千円の黒字となっている。

一般会計及び特別会計を合わせた総決算額については次のとおりである。

(単位：円・%)

| 区分 | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 前年度に対する増減 | |
|-------|----------------|----------------|--------------|---------|
| | | | 金額 | 増減率 |
| 歳入決算額 | 30,090,127,755 | 29,533,755,160 | 556,372,595 | 1.88 |
| 歳出決算額 | 29,666,655,593 | 29,103,226,358 | 563,429,235 | 1.94 |
| 実質収支 | 160,317,565 | 242,738,705 | △ 82,421,140 | △ 33.95 |

前年度の総決算額に比べ、歳入では5億5,637万3千円(1.88%)、歳出では5億6,342万9千円(1.94%)それぞれ増加、実質収支においては8,242万1千円(33.95%)減少となっている。

(3) 財政力指数等について

普通会計における財政力指数等の推移は、次表のとおりである。

| 区 分 | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 | 対 30 年度比較増減 |
|--------|-------|----------|----------|-------------|
| 財政力指数 | 0.233 | 0.230 | 0.229 | 0.003 |
| 経常収支比率 | 96.2 | 96.8 | 95.4 | △0.6 |
| 実質収支比率 | 0.7 | 0.8 | 0.8 | 0.1 |

・財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指標であり、当該年度を含む過去3年間の平均値で表される。1に近いほどよく、1を超えるほど財源に余裕があるものとされている。

当年度の指数は0.233ポイントで、前年度と比べると0.003ポイント上昇している。

・経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾力性を示す指標であり、70～80%が適正とされている。

当年度の比率は96.2%で、前年度と比べると0.6ポイント低下している。

・実質収支比率

決算剰余又は欠損の状況を財政規模との比較であらわしたもので、良好な財政運営を行っているかどうかを示し、3～5%程度が望ましいとされている。

当年度の比率は0.7%で、前年度と比べると0.1ポイント低下している。